

学年・学級における学校教育目標の実現化

能生町立能生小学校教諭 二 宮 成 男

I 主題設定の理由

学校における教育活動は、究極的には学校教育目標の実現にむかって展開されなければならないと考えるが、現場における実践をふりかえってみると、必ずしもそのようにはいっておらず、やゝもすると目標から遊離しがちな傾向が見える。この点について、自校の実践を分析してみると、つぎのような問題点をあげることができる。

- 学年や学級目標は掲げてはいるが、学校教育目標との系列が不明確であったり、その実践についての具体案が乏しかった。その結果学年、学級王国的な経営となりがちであった。
- 教科、道徳、特活、学校行事等の指導計画が、学校教育目標、重点目標とは、ほとんど無関係に計画され、指導されていたきらいがあった。
- 学校教育目標実現化のための、研究、推進組織がなく、学年会は必要に応じ随時もたれてはいたが、学級間の連絡調整が中心になり、目標実現のための日々の教育活動についての話し合いはあまりなされていなかった。

学校における教育活動は、子どもの全人的な成長を目ざして、計画的に編成された教育課程を実施することにあるが、その中核は、学校教育目標の実現達成をはかることであり、学校教育目標の実現は重点目標からさらに、努力事項を具体化し、学年を通して学級におろし、毎日の指導実践を通して、子どもに望ましい変容を遂げさせることであると考え、その実現達成をはかる最もたいせつな場合は、学年、学級経営であると考え、この主題を設定した。

II 具体的研究の観点

主題設定の理由に述べたような観点から、学校教育目標の実現達成をはかるもつともたいせつな場は直接子どもと教師のふれ合う、学年、学級経営であると考えた。そこで、次の課題を中心に、学校教育目標をどのようにして、学年、学級経営で実現化すべきかを考えてみることにした。

- (1) 学校教育目標に対する、重点目標・努力事項から指導の重点を設定し、これをうけて、学年の特性・児童の実態・その他の諸条件を考慮して、学校全体として学年的系統・関連を重視した学年・学級目標を設定する。
- (2) 学年・学級目標達成のための指導重点および指導計画をたてる。
- (3) 各学年・学級間の関連をはかり、実現化の推進のために、学校全体の有機的な組織をつくり、実現化に努力する。

以上のような観点から、学校教育目標の実現化の手だてを実践をとおして追求する。

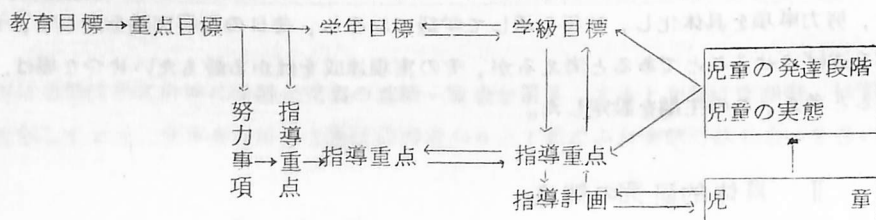
1 重点目標達成のための指導の場と指導の重点の設定

重点目標	努力事項	指導の場	指導の重点
①…………略	…………略	学習指導(知育面)	…………略
②思いやりのある子	人の立場を良く考える ものをたいせつにする 動植物をいたわる	生活指導(徳育面)	協力して仕事ができるようにする (主として学級会を通して)
③…………略	…………略	健康指導(体育面)	…………略

学校教育目標の実現化をはかるには、指導計画や実践の過程で、その軸となるものをしぼっていく必要があり、それは、実践のための目標の焦点化と考えてもよいだろう。そこで、目標にかゝげる子ども理想像をもとに指導内容を学年、学級における実践活動の・学習・生活・健康の三つの場におき、指導の重点を上記の表のように設定した。

2 学年・学級目標と指導の重点の設定

この設定にあたっては、重点目標がそれぞれの学年・学級間において、全校的な立場から共通性、系統性が強調されなければならないとともに、学年の発達段階・学年・学級の個性がそれぞれ生かされたものでなければならない。そのため、次のような手順によって設定した。



- (1) 学年目標の設定にあたっては、その学年の発達段階を中心に、児童の実態をふまえ、重点目標をさらに具体化した努力事項の分析をおこない、各学級担任がそれぞれ学年として望ましい児童像を描きながら、具体的な項目を学年会に出し合って、それを内容ごとにくくって、さらに一括した目標をうち出して学年目標とし、これを指導連絡会で調整し、職員会によって、全職員の共通理解を深め決定する。
- (2) 学級目標の設定にあたっては、学年目標を基盤に、その学級児童の実態、特性、担任教師のビジョンを盛りこみ、具体的な指導の場や、有効な手段方法を考慮し、学級目標案を設定し、これを学年会・指導連絡会で、たて・横の関連を調整し、職員会において、共通理解を深め決定する。
- (3) 学年、学級の指導重点の設定においては、(1)(2)の順にしたがって、学校の学習、生活、健康の場における指導重点を分析し、その学級の独自性や担任の個性などと、指導事項の選択や指導の

順序性ならびに指導の方法などを見通して設定し、その調整は、三指導部によっておこなう。

以上のような考え方、手続きによって設定された、学年、学級目標及び指導重点の例として、6年3組のものを以下に示す。

	学校重点目標	学校努力事項	指導の場	学 年	学 級
	① …略	略	略	略	略
目 標	(2)おもいやりのある子	<ul style="list-style-type: none"> ・人の立場をよく考える ・ものをたいせつにする ・動植物をいたわる 	生 活	下級生をいたわり お互い仲よく協力しあう。	仲よく、お互い協力しあって、楽しい学級をつくらう
指導の重点		協力して仕事ができるようにする	指 導	<ul style="list-style-type: none"> ・最高学年として自覚をもった生活行動をさせる ・児童会、学級会を通して、お互い仲よく協力しあって楽しい学校づくりをさせる 	<ul style="list-style-type: none"> ・学級会を通して連帯感・所属感を育てる ・仕事に協同で責任をもち、反省をもとにして改善できるようにする
	③ …略	略	略	略	略

3 学級年間指導計画の作成

具体化された目標を指導計画がないうまにしておくと、目標は目標で終わり、日々の実践活動のなかにじゅうぶん生かされず、子どもたちの具体的な活動として展開されないで終わってしまう。そこで三つの指導の場において、各学級で年間指導計画を立て実践することにした。作成にあたっては次の点を特に配慮した。

- (1) 学級目標を具体化し、児童の実態を見合わせ、実現可能なものをあげる。
- (2) 児童の発達段階・学校行事・社会行事・季節的な生活実態をふまえる。
- (3) 具体的なねらい、指導事項をできるだけ整理し、一つのことの徹底から自信をもたせる。

上記の点をふまえ、作成された指導計画の例として、6年3組の生活指導の場における年間指導計画を示すことにする。

重点目標	思いやりのある子	努力事項	・人の立場をよく考える。 ・ものをたいせつにする ・動植物をいたわる。
学年目標	下級生をいたわり、お互い仲よく協力しあう		
学級目標	仲よく、お互い協力しあつて、楽しい学級をつくる		
学期・月	一 学 期	二 学 期	三 学 期
	4 5 6 7	9 10 11 12	1 2 3
指導の重点	最上級児として自覚を高め、下級児童をいたわる	連帯感、所属感を育てる	仕事は協同で責任をもち、反省をもとに改善する
具 体 的 な ね ら い と 指 導 事 項	1.最高学年としての自覚を高める ・自分の生活目標 ・話し合い 2.校内における、自分の役割がわかるようにしむける ・係の仕事をしつかり 児童会、学級会、部活動、クラブ、地区児童会、校内外の清掃 3.上級生、下級生間の人間関係を深める ・低学年の登下校の世話 ・低学年のお手伝い(給食、清掃、その他) ・遊び時間の遊び方、場所	1.助けあつて責任を果たす態度 ・だれとでも仲よしになれる ・自分の仕事が終わったら、だれにでも手伝ってあげる ・学習の仲間をつくる 2.学級会活動を充実させ、学級社会の一員としての自覚と実践を高める ・話し合い活動 ・係り活動 ・集会活動 3.学級と学年の関連をはかり学年同志が協力しあう態度 ・学年会を組織する ・学年の集会活動及び諸行事の機会をもつ 4.児童会活動に積極的に参加しよりよい学校づくりをする	1.友だち、下級生、よその人に対しても、明るい挨拶ができるようにする ・朝、夕、登下校時、家庭 2.一日の自分の行動について反省をさせる ・毎日簡単な日記をつける(仲よく、責任、協力、他にめいわくをかけない) 3.一年間の反省のまとめをさせる ・年度はじめに決めた自分の目標に対して、反省文をかく 4.みんなで分担しあつて、卒業の諸準備をさせる ・卒業記念、アルバム、文集お別れ会、謝恩会

4 学校教育目標実現化の指導組織



- (1) 指導部連絡会は、校長、教頭、教務主任、校舎主任、各指導部長をもつて構成し、主として学校教育目標を達成するための大綱の原案作成、各指導部門の調整とともに方向づけを行なう。
- (2) 三指導部会は、各学年から、ひとりずつ分属し、これに専科担任を加え全教師で構成し、部における指導計画の検討をし、たて・横の關係に落ち込みのないよう調整をはかり、その実践結果の問題点について協議し、指導計画が学年・学級経営の中に、日常浸透し実践されるよう推進の役割を果たす。
- (3) 学年会は、毎週1回学年学級日を設定し、三指導部からの連絡事項や各学級児童の実態をもちよ

って検討し 計画の改善 実践への徹底をはかる。

IV 学年・学級指導の実際

学年、学級における指導の実際を、6年生の生活指導についての例として、学年会の協議記録及び学年集会活動の記録を示すことにする。

＜ 学年会の協議記録 — 学年、学級会活動を中心として ＞

学年会において、児童の自主的な活動の促進をはかるべく、主として次の事項が協議され、各学級の指導に生かされるよう努力した。

(1) 学級会活動について、学級集団の評価を兼ねアンケートを学年で実施した。その結果を次のようにまとめた。

ア 組織の編成がやゝ機械的に流れたため、活動意欲が全般的に低い。

イ 係りどうしのまとまりができていない。

ウ 仕事に対する責任感や協力体制が不十分である。

その他一部の児童に、協同意識より競争意識が優先する考えがあるなど、問題点は主として、連帯感、所属感にかかわるものに集約することができた。

(2) これらの問題解決にあたっては、児童の生活全般にわたって、意図的・効果的に指導しなければならないと考えた。特に学年では、学級会活動を通して、解決のくふうをはかることが協議され実施することになった。

(3) 学級の実践活動で得た成果は、お互い学級の指導に取り入れ役だたせるようにする。

(4) 学年の児童は、次のような活動を計画し実践するようになった。

。 係り活動の交流を学年間ではかるようにする。

。 月1回学年児童会を開き、お互い学年・学級の問題点を持ちより、学級間の調整をはかる

。 学年集会活動をもち、学級間の親睦をはかり人間関係を深める

＜ — 学年児童集会活動の指導 — 連帯感、所属感を高めるために — ＞

学級会活動の本質をそこなわず、それを育成し促進することによって、学級目標達成に近づけることは、たいせつであるが、最高学年としてもっともたいせつなことは、学校全体の立場から考え、学年における連帯感、所属感を高めることが重要であろう。その意味から、学年児童間の融和と協力を育てる場として、学年集会活動を重視している。

(1) 学年児童会活動の組織編成と実践

話し合い活動の組織 定例 毎月1回 必要に応じ随時

係り活動の組織 日常活動

学年集会活動の組織 学年行事 毎月1回

これらの組織をつくる場合、学年児童が自発的、自主的活動を促進するよう次の点に配慮する。

ア 議題の選定や話し合い活動の実施計画を立案するプログラム委員を常設し、そのメンバーは、全校児童会代表委員2名、学級代表3名、生活部代表3名、提案者として構成するプログラム委員より、議長、副議長、書記2名を互選する。

1 係り活動

学校奉仕活動としての学校当番、低学年の世話、1・2年給食、登下校等の係り。6年に分担された、清掃場所、手洗い場、および6年全体としての生活係等をもうけ、実際活動の点検、連絡調整にあたり、日常活動の推進をはかる。

学級間の親睦をはかるため、球技大会、写生大会、屋外給食会、水泳大会、クリスマス会、学年お別れの会、謝恩会等を計画する。

この計画実施にあたっては、学年話し合い活動時に実行委員を選出し、推進する。

(2) 実践の結果

いままで、ばらばらになりがちであった学級経営や、日常生活指導が、学年間で一体化され、最高学年としての自覚とともに、連帯感、所属感が深まり、学年内に望ましい人間関係が結ばれ、お互い協力し合い、非行や事故がおこらないようになってきているように思われる。

学年教師間でも、日常生活指導に、また学級会活動において、学年担任者全員が児童とともに、学級間の差別へだたりなく、自分の学年として心から協力し合う指導の立場をとるようになってきている。この指導を通して感じられたことは、日常生活の中で何か一つよくなれば、それをたいせつに育てていくことが、他のことにも影響を及ぼし、指導上大事な着眼であるということである。

V 研究のまとめと今後の問題

以上、わたしたちの学年、学級における学校教育目標の実現化の概要を述べてきた。この実践をおこなって、まだ日浅く、現段階においては、その成果を評価する段階ではないが、感じた点を次にあげてみると

- 組織と運営面から一目標につながる三指導部構造によって、たての系統をすつきりさせ、さらにそれぞれの学年段階で、学級経営上のつまずきや、落ち込みをなくするために、横の連絡を学年会においたことによって、学校目標や、指導の重点が学校のすみずみまで浸透し、日々の授業に生かされるようになり、教師の実践に自信の裏づけになったと思われる。
- 研究活動の面から一どうかすると個々の教師には縁のない、校長室のアクセサリとしてうずもれがちであった教育目標や指導重点が、教師のものとなって、日常実践の場に生かされ、具体的に子どもの姿の中に現われてきたように思われる。

なお、この実践を通して、今後残された問題としては、学校教育目標は、各教科領域すべての場において実現すべきことと思われるが、それぞれは、また、それぞれのねらいをもっている。この関連をどうまつちさせるか、また、評価をどうおこなったらいいか、ということであり、更に実践を深めていきたいものと考えている。